

現代中国語に見られる“让”と“叫”の 使役表現について

今 村 圭

1. はじめに

現代中国語(“普通话”)で使役を表す場合, “V(使役動詞)+O(兼語)+VP(動詞フレーズ)”の形式で表される。このような形を兼語式と呼び, Vの位置には“让”や“叫”をよく用いるとされている。藤堂・相原(1985)が, 使役の機能の共通化が進んでいると指摘している¹⁾ように, 現代中国語において, “让”と“叫”は基本的にはほぼ同じものとして扱われることが多い。

このように共通の機能を表す使役のマーカ―として一括して扱われることが多い“让”と“叫”であるが, 同じ様に用いられているのかを実証的に調査した研究は少ない。本稿では, “让”と“叫”の間に, 用例数や用法に違いは見られないのかを明らかにする。

2. 分析方法と対象資料

本稿で用いる分析方法と対象資料について言及する。

まず, 分析方法は, 木村(2000)で述べられている指示使役文・放任使役文・誘発使役文という3つの分類を用いる。この分類を用いたのは, ここで示されたヴォイスのカテゴリが, 共時的研究にも通時的研究にも利用でき, 今後の研究に広く用いることができると考えたためである²⁾。3つの分類の構造を次のように記号化し, 説明している³⁾。

a. 指示使役文 X 叫 Y V⁴⁾

指示使役文とは, 主語に立つ人物 X が人物 Y に, 動作・行為 V を遂行させようとしむける事態を述べる構文である。

1) 老师叫小红念课文。

(先生は小红に教科書の本文を読ませた)⁵⁾

b. 放任使役文 X 让 Y V

放任使役文とは、人物 Y が動作・行為 V を遂行することを人物 X が許容する、ないしは放任するという事態を述べる構文である。

2) 让我随便挑一下。

(私に自由に選ばせて下さい)

c. 誘発使役文 X 使 Y V

誘発使役文とは、Y に何らかの状態または変化が生じる状況を X が誘発するという事態を述べる構文であり、[-意志性] の表現が述語に用いられる。典型的には、心理活動や身体的状況に言及する無意志動詞もしくは形容詞を述語にとる。

3) 巨大的兴奋使他睡不着觉了。

(とてつもない興奮が彼を寝つけなくさせた)

木村(2000)は、“普通话”において“让”と“叫”は、3つの全てのカテゴリに用いることができるとしている⁶⁾。

本稿では、“让”と“叫”に地域差があるのではないかという仮説に立ち、南北からそれぞれ一人ずつ、北方出身の万方(1952～)と南方出身の王安憶(1954～)の作品を用いる。

万方是北京出身の作家であり、父は劇作家曹禺である。今回調査した作品は、《空镜子》(2000)、《华沙的盛宴》(2004)、《空房子》(2004)⁷⁾、《一一之吻》(2005)である。

王安憶は南京の出身であるが、生まれてすぐに上海に移り住んだため、基本的には上海人の作家とみなされており、母は作家の茹志娟である。今回調査した作品は、《雨，沙沙沙》(1980)、《舞台小世界》(1982)、《流逝》(1982)、《老康回来》(1985)、《小鲍庄》(1985)、《天仙配》(1998)、《小新娘》(2002)、《救命车》(2007)である。

3. “让”の分析

3.1 万方の作品における“让”

万方の作品において“让”が使役表現に用いられている例は、全部で313例見られた。この313例を木村（2000）に基づき分類する。

3.1.1 指示使役文

“让”を指示使役文に用いていた例は、全部で86例見られた。

4) 杨杨，我让你端过来！〈空房子 p.16〉

（楊楊，持ってきなさいと言っているでしょ）

5) 我妈非让我吃早饭，不吃她不让我出门。〈空房子 p.47〉

（お母さんが私（李珍）に朝ご飯を必ず食べるように言って、食べないと出かせさせてくれなかったんだ）

6) 杨杨不服气：又没让你买。〈空房子 p.30〉

（楊楊は納得せずに、「母さんに買ってくれと頼んでいないし」と言った）

例文4)～6)は、どれも対話文における例である。4)は、果物を全て一人で食べてしまった息子に対し、母親が発した言葉であり、使役者は母親、被使役者はその息子である。5)は李珍が友達に対し、待ち合わせに遅れた理由を説明している場面であり、使役者は母親、被使役者は李珍である。これらはどちらも、身分が上の人物から下の人物への指示を表す例となっている。一方、身分関係から見ると、例文6)は、前の2つの例とは逆にあたる下の人物から上の人物に対して働きかけるような形になっている。この例は、おばあちゃんに高価な運動靴を買ってもらおうとしていたことに対して反対した母親に、息子（楊楊）が発した言葉である。使役者は息子であり、被使役者は母親である。この例は日本語でいうところの「～ていただく」にあたるような例となっている。

3.1.2 放任使役文

“让”を放任使役文に用いていた例は、全部で90例見られた。

- 7) 金老太说：让他听完了吧。〈空房子 p.34〉
 (金老太は、「彼に最後まで聞かせてあげなさい」と言った)
- 8) 齐乔伸出手要去摸她的小红疙瘩，马华沙躲来躲去不让她摸。〈华沙的盛宴 p.105〉
 (齐喬は手を伸ばして彼女の小さな赤いはれものに触ろうとしたが、馬華沙は逃げ回って彼女に触らせないようにした)

7) は、父親がテレビで評書を聞いている息子に宿題をやるよう言った際に、父親の母である金老太が、父親に対し最後まで聞かせてあげるよう説得している場面の例である。8) は、齐喬が馬華沙の顔にあるはれものに触ろうとしたのを、馬華沙が嫌がって触らせないように逃げ回っている場面の例である。この例は“不让～”という否定形が用いられており、不許可を表している。

また、“让我 (自称語) ~”で「私に～させて下さい」という自発的な表現を表す形式の例も見られた。

- 9) 等等，让我再看看。〈空房子 p.28〉
 (ちょっと待って、もう一度見させて下さい)
- 10) 让我想想。〈空房子 p.128〉
 (ちょっと考えさせて下さい)

3.1.3 誘発使役文

“让”を誘発使役文に用いていた例は、全部で137例見られた。

- 11) 这些话每每让姚一感到吃一惊。〈一一之吻 p.9〉
 (これらの言葉はいつも姚一に驚きを感じさせた)
- 12) 结婚以后的情形让她不由得有点失望。〈空镜子 p.34〉
 (結婚した後の状態は彼女を思わず少しがっかりさせた)
- 13) 排房里传出了让人惊喜的消息。〈华沙的盛宴 p.110〉
 (平屋が立ち並ぶ街に人々を驚喜させるようなニュースが広まった)

万方の作品に見られる“让”の用法をまとめると、表1のようになる。

表1：万方の作品における“让”の使役表現

	指示使役文	放任使役文	誘発使役文	合計
地の文	24	27	107	158
対話文	62	63	30	155
合計	86	90	137	313

表1からわかるように、万方の上記の作品において、“让”は指示使役文・放任使役文・誘発使役文の全てに用いられていた。

3.2 王安憶の作品における“让”

王安憶の作品において“让”が使役表現に用いられている例は、全部で107例見られた。この107例を木村（2000）に基づき分類する。

3.2.1 指示使役文

“让”を指示使役文に用いていた例は、全部で41例見られた。

- 14) 今天让你们来, 是讨论解散的吗? 〈舞台小世界 p.70〉
(今日お前たちに来させたのは、解散について議論するためか)
- 15) 你让我干别的事情好了。〈流逝 p.125〉
(別の事ならやれと言われてもかまわないのに)
- 16) 是民政局让你写的? 〈小鲍庄 p.202〉
(民政局がお前(鮑仁文)に書くように言ったのかい)

例文14)~16)は、どれも対話文における例である。14)は舞台の団長が団員たちに対して発した言葉であり、使役者は団長、被使役者は団員たちである。15)は母親が娘に質入れに行つて来るよう命じたことに対し、行くのを拒んでいる娘の言葉である。使役者は母親、被使役者はその娘である。16)は鮑彦栄が、小説を書こうとしている鮑仁文に対して発した言葉であり、使役者は民政局、被使役者は鮑仁文である。例文16)

で挙げた問に対し、鮑仁文が「いいえ」と答えると、鮑彦栄は再び“是
公社要你写的？”（人民公社がお前に書くように言ったのかい）と尋ねる。
片方では“让”，もう片方では“要”が同じ形式の質問の中で使われている
ことから、この“让”は“要”と同じく相手に対し積極的に働きかける
指示使役文に用いられている例であると判断できる。

3.2.2 放任使役文

“让”を放任使役文に用いていた例は、全部で54例見られた。

- 17) 他们在搬东西呢，把东西都搬到卡车上。小娘的钢琴也搬走了。
(あいつら物を運んで、トラックに積み込んでるよ。姉ちゃんのピ
アノも運び出されちゃった)
让他们搬吧！我什么都不要了。〈流逝 p.118〉
(あいつらに運ばせておきなさい。私はもう何もいらぬから)
- 18) 他想：是让弟弟玩还是不让弟弟玩。〈救命车 p.281〉
(弟に遊ばせてやろうか、それとも遊ばせてやらないかを考えてい
た)

17) は、男の子と義理の姉の対話である。男の子が義理の姉にピアノ
が運び出されていることを伝えると、義理の姉はそのまま放っておくよ
うに言っている。18) は、兄が自分が買ってもらったおもちゃを、弟に
遊ばせてやるかどうか考えている場面の例であり、許可と不許可の表現
が用いられている。

また、“让我～”で自発的な表現を表す形式の例も見られた。

- 19) 你们要信得过我，就让我试试吧。〈舞台小世界 p.73〉
(あなた方がもし私を信用できるなら、私に試させて下さい)
- 20) 大兄弟，你停一停，让我挑个顶针儿。〈小鲍庄 p.228〉
(お兄さん、ちょっと止まって、私に指ぬきを選ばせて下さい)

3.2.3 誘発使役文

“让”を誘発使役文に用いていた例は、全部で12例見られた。

- 21) 唯心主义慰人心，让人走到哪一步，心里都存个念想。〈天仙配 p.16〉
 (唯心主義は人の心をなぐさめ、人にどんな時でも心に思いやる心を抱かせてくれる)
- 22) 疾病让他消瘦许多，而且神情肃穆。〈救命车 p.281〉
 (病気によって、彼はかなり痩せ細り、表情も物々しくなった)
- 23) 现在家里好了，不会让你吃苦的。〈流逝 p.190〉
 (今うちは金持ちになったから、お前に苦しい思いをさせるようなことはないよ)

王安憶の作品に見られる“让”の用法をまとめると、表2のようになる。

表2：王安憶の作品における“让”の使役表現

	指示使役文	放任使役文	誘発使役文	合計
地の文	30	27	10	67
対話文	11	27	2	40
合計	41	54	12	107

表2からわかるように、王安憶の上記の作品において、“让”は指示使役文・放任使役文・誘発使役文の全てに用いられていた。

次に、同様の手順で、“叫”の使役表現の例を確認していく。

4. “叫”の分析

4.1 万方の作品における“叫”

万方の作品において“叫”が使役表現に用いられている例は、全部で6例見られた。この6例を木村（2000）に基づき分類する。

4.1.1 指示使役文

“叫”を指示使役文に用いていた例は、全部で3例見られた。

- 24) 我妈叫我吃饭了。〈空房子 p.112〉

(お母さんがご飯を食べるように言っているので)

25) 我马上叫值班的师傅去检查。〈空房子 p.203〉

(すぐに当直のものに点検しに行かせます)

26) 叫她起来。〈空房子 p.45〉

(お母さん(丁亜蘭)に起きるよう言ってきて)

これら3例は、どれも対話文における例である。24)は、電話をしている娘が、友達との電話を切る際に発した言葉である。使役者は母親、被使役者はその娘である。25)は、清掃部の責任者が、トイレが水漏れしていると言ってきた人物に対し発した言葉である。使役者は責任者、被使役者はその部署に属している作業員である。26)は、丁亜蘭の友達が、丁亜蘭の娘に対し発した言葉である。使役者は丁亜蘭の娘、被使役者は丁亜蘭である。

4.1.2 放任使役文

“叫”を放任使役文に用いていた例は見られなかった。

4.1.3 誘発使役文

“叫”を誘発使役文に用いていた例は、全部で3例見られた。

27) 看人的时候总是直盯着人的眼睛，叫你不得不低下头，要不就看别的地方。〈空镜子 p.55〉

(人を見る時、いつもまっすぐに人の目を見つめるので、相手はうつむかざるを得なくなるか、そうでなければ別の所を見ざるを得なくなる)

28) 为了叫自己相信事情不是这样的，为了压下这种可怕的念头，孙燕又思考起姐姐离婚的事来，可想不出什么结果，迷迷糊糊睡着了。〈空镜子 p.67〉

(自らに事はこのようではないと信じさせるために、またこの種の恐ろしい考えを抑えるために、孫燕はまた姉の離婚の事を考え起こしたが、何の結果も考え出せなく、ぼんやりと眠りについた)

29) 原来坏蛋不是别人，正是她俩。谁叫她们用石块打毛主席呀。〈华沙的盛宴 p.111〉

(なんと悪人は他の人ではなく、彼女らであった。だって、彼女らは石を毛主席の石像に向かって投げたのだから)

例文 29) は、“谁让(叫)~”⁸⁾という形式に特有な抽象的用法であり、本稿では誘発使役文の中に分類した⁹⁾。

万方の作品に見られる“叫”の用法をまとめると、表3のようになる。

表3：万方の作品における“叫”の使役表現

	指示使役文	放任使役文	誘発使役文	合計
地の文	0	0	3	3
対話文	3	0	0	3
合計	3	0	3	6

表3からわかるように、万方の上記の作品において“叫”は指示使役文・放任使役文・誘発使役文の全てに用いられていたわけではなく、若干の指示使役文と誘発使役文に用いられていたのみであった。

4.2 王安憶の作品における“叫”

王安憶の作品において“叫”が使役表現に用いられている例は、全部で40例見られた。この40例を木村(2000)に基づき分類する。

4.2.1 指示使役文

“叫”を指示使役文に用いていた例は、全部で14例見られた。

30) 东家叫我买点好的给他吃吃。〈老康回来 p.299〉

(ご主人が私に良いものを買って彼(老康)に食べさせるようにと言った)

31) 端丽火了：大人叫你点事情，真吃力。〈流逝 p.125〉

(端麗は怒って、「大人があなたにやれって言っているのに、全く

手間がかかるね」と言った)

32) 姆妈耳朵不好, 叫我去。〈流逝 p.145〉

(母は耳が悪いから、俺(文耀)に代わりに行けって言うんだ)

例文 30)~32) は、どれも対話文における例である。30) は、お手伝いのおばさんが、老康の友人に対し、自分をご主人様から言いつかっていることを述べた言葉である。使役者はご主人、被使役者はお手伝いのおばさんである。31) は、母親(端麗)が娘に手伝いを頼んだが、娘が嫌がったために、腹を立てて発した言葉である。使役者は母親、被使役者はその娘である。32) は、妹の保護者会に自分が行かなくてはならなくなった理由を、夫(文耀)が妻に対して説明している場面である。使役者は母親、被使役者はその息子の文耀である。

4.2.2 放任使役文

“叫”を放任使役文に用いていた例は、全部で3例見られた。

33) 好孩子, 过年大一定叫你念。〈小鲍庄 p.237〉

(いい子だ、来年はきっと学校に行かせてやるからな)

34) 老师叫他们不要说出去。〈流逝 p.158〉

(先生は彼らに言いふらしてはいけないよと言った)

35) 我大哥, 你不能叫我大嫂吃芋干面做月子。〈小鲍庄 p.197〉

(兄さん(鮑彦山)、産後の奥さんに芋乾麵を食べさせてあげないの)

33) は金銭的な都合から、学校へ行きたかったのに行けなくなってしまった息子に対して父親が発した言葉である。34) は先生が学生たちに対し、教えてあげた秘密の情報をまわりに言いふらしてはいけないとしている場面であり、不許可を表している。35) は弟の嫁が義理の兄に、産後の奥さんに芋乾麵を食べさせてあげないのか尋ねている場面である。産後の奥さんとしては食べたいのであろうが、貧しいために鮑彦山は食べさせてあげられないのである。

4.2.3 誘発使役文

“叫”を誘発使役文に用いていた例は、全部で23例見られた。

36) 从头到尾，没个叫人来劲儿的节目。〈舞台小世界 p.75〉

(初めから終わりまで、興奮させるような演目はなかった)

37) 这也让她气恨，因为丢失了许多叫人羡慕的好画面。〈小新娘 p.49〉

(この出来事も彼女を怒らせた、なぜなら人に羨ましがらせるような多くの場面を失ったからである)

38) 妈妈的惊讶叫他更觉着得意了。〈流逝 p.120〉

(母親の驚きによって、息子はさらに得意気になった)

王安憶の作品に見られる“叫”の用法をまとめると、表4のようになる。

表4：王安憶の作品における“叫”の使役表現

	指示使役文	放任使役文	誘発使役文	合計
地の文	7	1	21	29
対話文	7	2	2	11
合計	14	3	23	40

表4からわかるように、王安憶の上記の作品において“叫”は指示使役文と誘発使役文及び若干の放任使役文に用いられており、3つ全てがそろっていた。

5. まとめ

今回の調査により次の3点が明らかになった。

① “让”は“叫”より優勢に用いられている。

万方の作品において“让”は313例，“叫”は6例と，“让”の方が圧倒的に多く用いられていた。また、王安憶の作品においても“让”は107例，“叫”は40例と、万方の作品ほどの差ではないが，“让”が多く用いられ

ていた。よって、現代中国語（“普通话”）においては“让”が“叫”より優勢に用いられていると言えよう。

“让”は作品内の対話文でも“叫”より多く用いられていたが、この点は口頭語の使用状況をそのまま反映していると言えるのだろうか。この点については今後の課題としたい。

② “让”の使用に関して南北差は見られない。

万方と王安憶どちらの作品においても、“让”が指示使役文・放任使役文・誘発使役文の3つ全てに用いられていた。よって、現代中国語においては“让”の用法に関して南北差は見られない。

③ “叫”の使用に関して南北差が見られる。

万方の作品では、“叫”は6例しか用いられていなかった。一方、王安憶の作品では、40例とある程度の用例数が見られた。また、王安憶の作品では、“叫”が指示使役文・放任使役文・誘発使役文の3つ全てに用いられていた。よって、現代中国語においては“叫”の使用に関して南北差が見られ、南方の方がより多く“叫”を使役表現に用いていることがわかる。

中国語の方言では、南北を問わず“叫”または“叫”に相当する“喊”や“告”が使役表現に用いられているのに対し、“让”は南方の多くの方言で使役表現に用いられていない¹⁰⁾。南方出身の王安憶が“叫”を多く使役表現に用いるのは、南方の方言における“让”の不在と関係があるのかもしれない¹¹⁾。

今回の調査では現代中国語の使役表現において南北を問わず“让”の使用が優勢であった。今後は文学作品だけでなくその背景にある口語の状況についてもさらに調査を進めたい。

【注】

1) 藤堂・相原 (1985), p.96~97 参照。

2) カテゴリを用いた共時的な研究として佐々木 (2002, 2007) が、通時的な研

究として玄（2006）がそれぞれ挙げられる。

- 3) 木村（2000），p.20～23 参照。
- 4) X は主語名詞を，V は述語を，Y は V の表す動作・作用の主体をそれぞれ表している。
- 5) ここに挙げた例文 1)～3) は，木村（2000）より引用し，筆者が日本語訳を付けたものである。また，本稿で挙げている例文の波線は，全て筆者が付したものである。
- 6) 木村（2000），p.31～33 参照。
- 7) 《空房子》に関しては，全体の約半分を調査した。
- 8) 太田・鳥居（1955）では，この形式について「「自分が勝手に……したのだから仕方がない」「生憎……なんだからね」などいろいろのニュアンスをもって用いられる」としている。また，平井（1986）では，この形式の前後に「当然」，「必要」を表す表現があることから，「“谁让～～”はある事柄が『当然，必要』であることの理由を表す」としている。
- 9) “叫”と同様に，この形式に“让”が用いられている例も見られた。
 - 39) 谁让她们那么年轻可爱，那么招人喜欢，连自己都没法不喜欢自己，喜欢极了。〈华沙的盛宴 p.146〉
（彼女たちはあんなにも若くて可愛く，人に好かれるのであるから，自分でさえも自分を嫌いなはずがなく，とても好きである）
- 10) 佐々木（2002，2007），李（2002）参照。
- 11) 本稿の第 2 章でふれたように，王安憶は上海人の作家であり，李（2002）では，上海方言における“让”の記載は見られない。

【使用テキスト】

《空房子》 万方 中国工人出版社 2004 年

《空镜子》 万方 北京出版社出版集团 北京十月文艺出版社 2007 年

《王安忆》 王安忆 人民文学出版社 1995 年

《王安忆短篇小说编年》卷一～四 王安忆 人民文学出版社 2009 年

【参考文献】

- 玄幸子 2006 「現代中国語文法化理論による近世語の態 (Voice) の分析」『関西大学外国語教育研究』第11号
- 平井和之 1986 「“谁让～～”という形式の一用法について」『教学通讯』第8号
- 胡德明 2009 〈“谁让”问句研究〉《世界汉语教学》第23卷第2期
- 木村英樹 2000 「中国語ヴォイスの構造化とカテゴリ化」『中国語学』第247号
- 2003 「中国語のヴォイス」『言語』第32巻第4号
- 李榮主編 2002 《現代漢語方言大詞典》江蘇教育出版社
- 太田辰夫・鳥居久靖訳註 1955 『註解中國叢書 面子問題』又新社
- 佐々木勲人 2002 「中国語における使役と受益—比較方言文法の観点から—」『事象と言語形式』三修社
- 2007 「東南方言における授与と受動」『南腔北調論集 中国文化の伝統と現代』東方書店
- 藤堂明保・相原茂 1985 『新訂 中国語概論』大修館書店
- 楊凱榮 1989 『日本語と中国語の使役表現に関する対照研究』くろしお出版